

東京石桜同窓会 第一部 講演会

瀬川 徹夫 氏

(映画録音技師、城西国際大学メディア文化学科「音楽・音響表現論」講師)

日時 平成21年10月24日(土) 午後5時30分より

演題 「映画録音と私」

瀬川 徹夫 (せがわ てつお) 氏 Profile

映画録音技師、城西国際大学メディア文化学科「音楽・音響表現論」講師、日本アカデミー協会会員、日本映画テレビ技術協会評議員、日本映画テレビ録音協会運営委員。

岩手県盛岡市出身(昭和18年10月26日生れ)、学業終了後、昭和39年株式会社アオイスタジオに入社、スタジオ録音技師として15年間在籍し、その間に「怪談」「東京オリンピック」「札幌オリンピック」などの録音スタッフとして参加。

ジョンブアマン監督による「太平洋の地獄」で初めてハリウッド映画の撮影に参加し、映画録音の魅力にとりつかれる。昭和54年同社を退社、以後フリーの映画録音技師となる。平成1年、株式会社プロダクションゆりーかに依頼され録音スタジオ'Digital Sound Design EURIKA'(DSD ゆりーか)を設計設立、他に先駆けてSynclavier(シンクラヴィア)を用い、デジタルベースによる映画録音及びビデオの為のMAスタジオを開設する。

平成4年同社を退社し再度フリーの映画録音技師として現在に至る。技師デビュー作の「煉獄エロイカ」(吉田喜重監督)をはじめに「あしたのジョー」「もどり川」「チンピラ」「汚れた英雄」「豪姫」「天と地と」「帝都物語」「アキラ」「写楽」「ラヂオの時間」「不夜城」「瀬戸内ムーンライトセレナーデ」「みんなのいえ」「梟の城」「千年の恋」「魔界転生」「スパイゾルゲ」「チルソクの夏」「ほたるの星」「娘道成寺」「カーテンコール」「姑獲女の夏」「HINOKIO」「The 有頂天ホテル」「男たちの大和」などを担当。近年の作品としては「結婚しようよ」「三本木農業高校馬術部」「ザ・マジックアワー」「容疑者Xの献身」など100本を超える担当作品がある。

長篇記録映画「よみがえる東塔」で日本映画テレビ録音技術賞を受賞の後「天と地と」「梟の城」「みんなのいえ」「千年の恋」「スパイゾルゲ」で日本アカデミー優秀録音賞を、篠田正浩監督の「写楽」では、日本アカデミー最優秀録音賞、毎日映画賞、日本映画テレビ録音技術賞の3賞を受賞。「ラヂオの時間」「男たちの大和」でも最優秀録音賞を受賞している。また「梟の城」「みんなのいえ」「千年の恋」「スパイゾルゲ」でも優秀録音賞を受賞した。映画専門誌の為の技術著作多数あり、スタジオシステム設計なども手掛け、現在、ProToolsやデジタルマルチレコーダーを用いた映画録音5.1chフルデジタルシステムを自宅に構築し、音作りや音響技術の研究、若い世代の育成にと努力を続けている。